

令和３年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力

「マンガイア島森林資源管理のための施設

（製材所・コミュニティー教室）整備計画」

令和３年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力「マンガイア島森林資源管理のための施設（製材所・コミュニティー教室）整備計画」の贈与契約書に関し、２０２１年９月１５日、クック諸島マンガイア島においてナメツア・パパツア・マンガイア林業グループ・グループ長が署名し、１０月１３日、在ニュージーランド日本大使館において伊藤康一大使が署名を行いました。

本事業によって、日本は、クック諸島のマンガイア島のマンガイア林業グループに対し１３２，９１４NZドルを供与し、同島オネロア地区において、森林資源の管理のための製材所・コミュニティー教室と林業用機械一式の整備を行います。林業用機械一式を整備し、侵襲性樹木の間伐を行うことで、森林資源の管理の改善、および同島における持続的な林業の発展に寄与します。さらに、森林地整備後の土地に製材所・コミュニティー教室を建設することで、製材事業によるマンガイア島民の人材育成や経済活動の活性化を図ります。本事業により、マンガイア島民約５００名が裨益することが期待されています。



ナメツア・パパツア
マンガイア林業グループ長



伊藤 康一
駐クック諸島大使